組立・設置説明書

2012.5

TOTO

洗面化粧台

座ってラクラクシリーズ

製品の機能が十分に発揮されるように、この組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

1 安全上の注意

- 取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
  使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

🛇	この記号は、してはいけない「禁止」内容です。	❗	この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

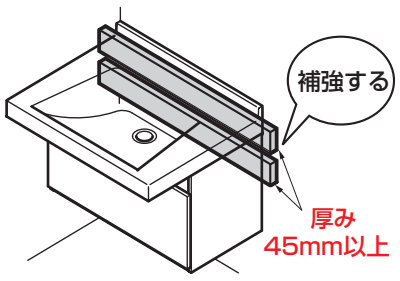
- 本体に付属している取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
  紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

⚠ 警告

壁固定ねじ取り付け位置に木さんを入れて補強する

キャビネットが転倒、落下しけがをするおそれがあります。

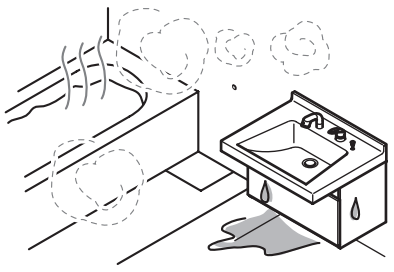
必ず実行



浴室など湿気の多い場所へ設置しない

木部の膨潤、変形などによりキャビネットが外れてけがをするおそれがあります。

禁止



水道・電気工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者・指定業者」が行う

火災や感電および水漏れの原因になります。

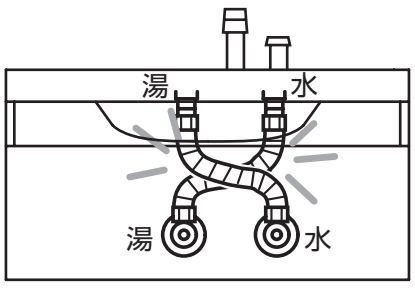
必ず実行

⚠ 注意

湯・水を逆に配管しない

水側でいきなり湯が出て、やけどをするおそれがあります。

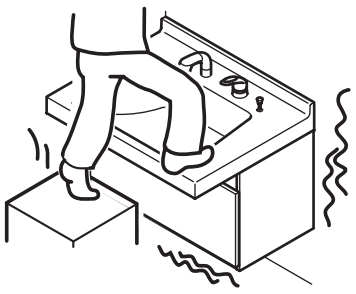
禁止



カウンターの上に乗らない

故障および転落・転倒してけがをするおそれがあります。

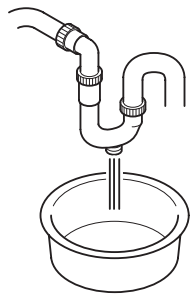
禁止



凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う

凍結破損で水漏れし家財などに損害を与える原因になります。

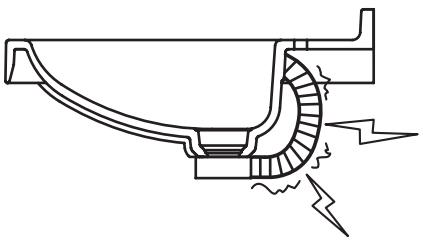
必ず実行



オーバーフロー接続ホースを持ってカウンターを持ち上げたり、接続ホースを引っ張ったりしない

接続ホースやその接続部が破損し、水漏れのため家財等に損害を与える原因になります。

必ず実行



取り付け完了後、給排水管から水漏れがないかを必ず確認する

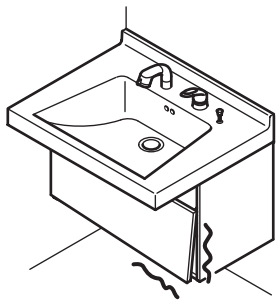
水漏れを起こすと、家財などに損害を与える原因になります。

必ず実行

取り付け完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する

使用中にキャビネット・扉が落下してけがをするおそれがあります。

必ず実行



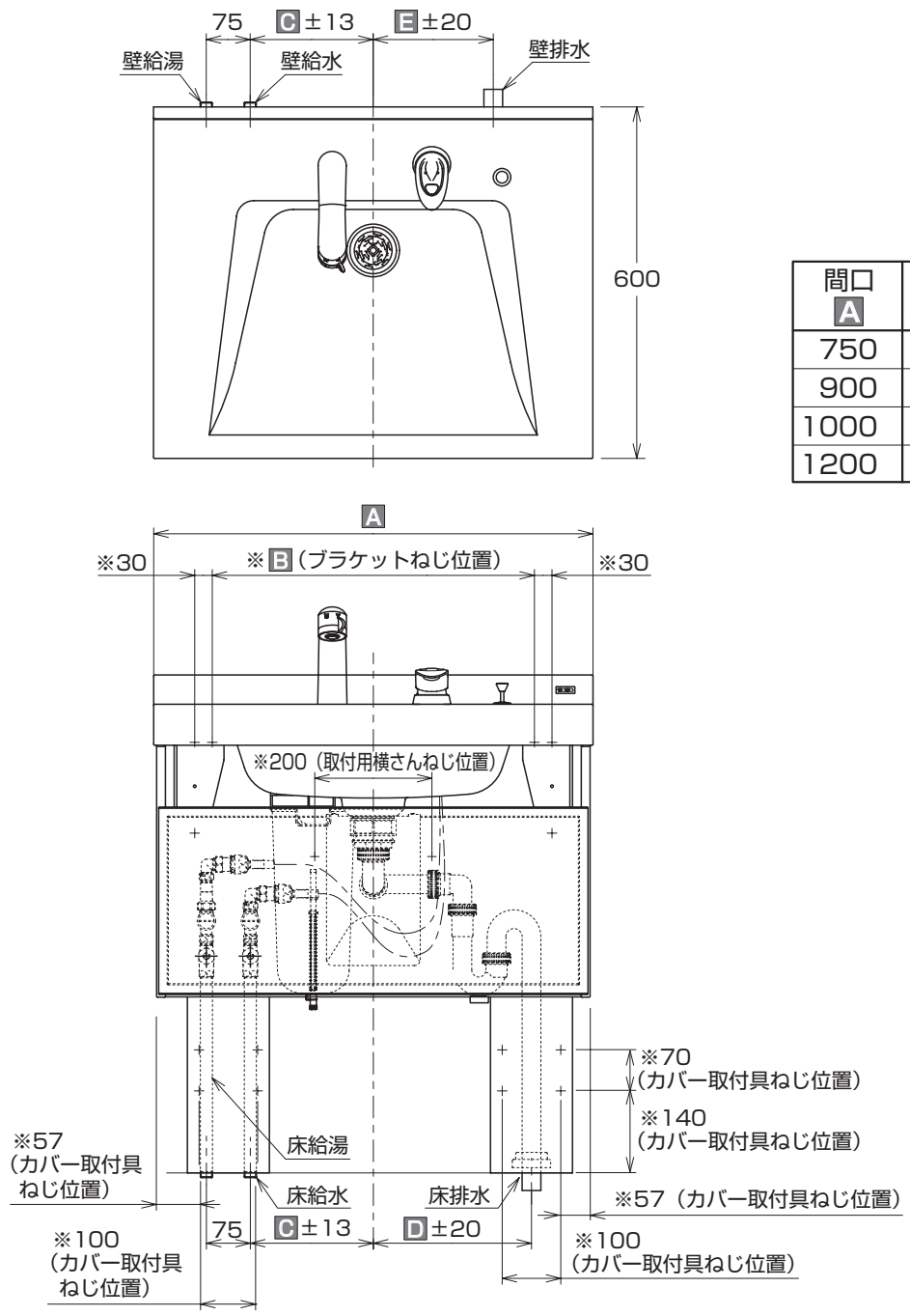
2 工事寸法

- 図はシングル水栓タイプです。サーモ水栓の場合も給排水位置は同じになります。
- カウンター高さについては、あらかじめお客様にご確認ください。
- 特殊品の場合の工事寸法は、承認図を確認してください。
- 止水栓は別途手配ください。（壁給水用LTL511C2U×2個）
- ※印の寸法は木ねじ位置を示します。

- 床給水の場合、下記止水栓と配管カバーユニット（L0100）を手配してください。

[床給水の場合の手配品番]

カウンター高さ	止水栓の品番
700～750mm	LT4BD25U × 2個
751～800mm	LT4BD26U × 2個
801～850mm	LT4BD18U × 2個

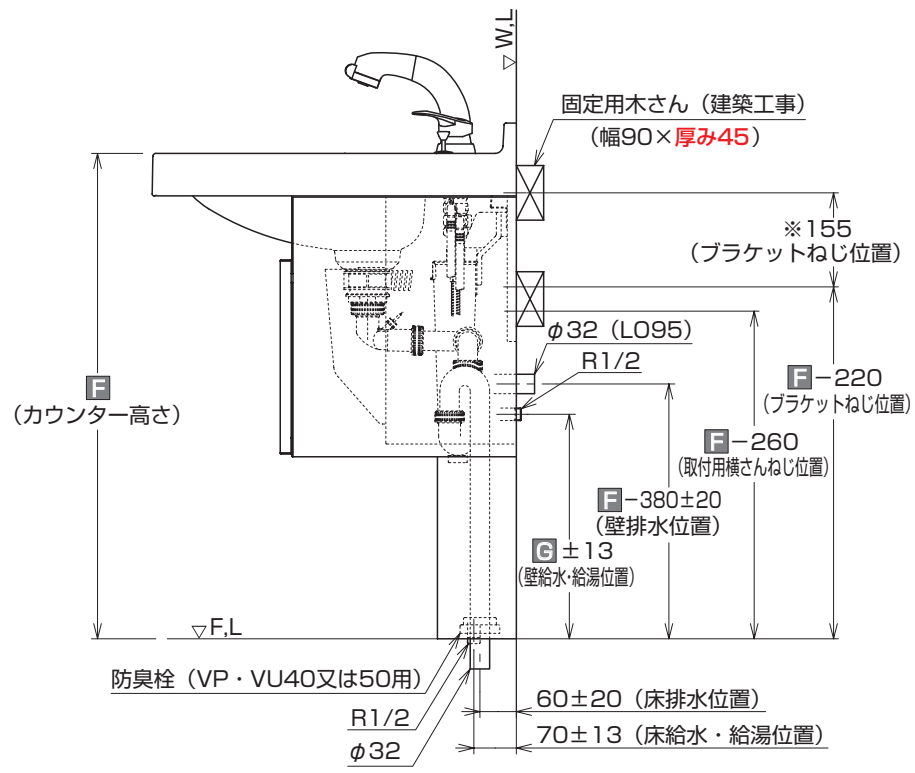


間口 A	ブラケットねじ位置 B	給水 C	排水（床排水） D	排水（壁排水） E
750	550	210	270	205
900	700	285	345	280
1000	800	335	395	330
1200	1000	435	495	430

(mm)

カウンター高さ F	給水・給湯高さ G
700～750	320
751～800	370
801～850	420

(mm)



3 設置上の注意

- 湿気の多い場所では、木部が膨潤するおそれがありますので設置しないでください。
  特に浴室内には、設置しないでください。
- 設置の際は床や製品などを傷つけないように取り扱いに注意してください。
- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどで遮ってください。
- 取り付けは必ず平滑な平面としてください。
- 取り付けの際は、必ず付属されているねじを使用してください。

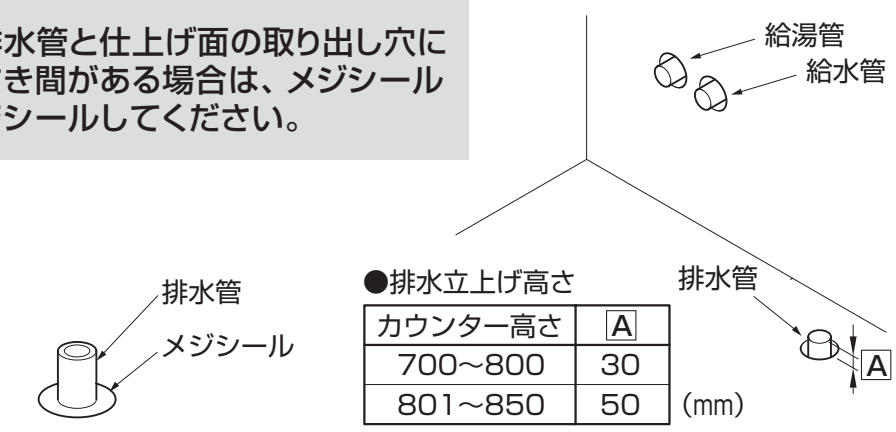
4 取り付け条件

- キャビネットの壁固定部分には、設置壁の裏面に固定用木さん(幅90×厚み45)を入れてください。(固定用木さんが取り付けられない場合は、設置壁の前面に厚み45mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付けてください。)（建築工事）

※タイル・コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ（引き抜き強度:1,000N以上／本）を打ち込んでおいてください。プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備してください。(プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。)

- 給水管を所定の位置に取り出してください。
- 器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 排水管を所定の位置に仕上げ面より下図要領で立ち上げてください。
- 排水管を所定の位置に取り出してください。(排水管はVU40･VU50または、VP40･VP50をご使用ください。)

※排水管と仕上げ面の取り出し穴にすき間がある場合は、メジシールでシールしてください。



●排水立上げ高さ

カウンター高さ	A
700～800	30
801～850	50

(mm)

5 使用条件

- 水栓金具の使用条件は、水栓金具の施工説明書をご参照ください。

6 付属部品明細

#は、A,B,C,E,F,J,M,P,Y色

			扉タイプ LDSJ○○○# 75#	90#	100#	120#	オープンタイプ LDSJ○○○○ 75	90	100	120
カウンター同梱	カウンター		1個				1個			
	目皿		1個				1個			
	ヘアキャッチャー		1個				1個			
	水栓カバー		1個				1個			
	タッピンねじ（水栓カバー用）	φ4.5×16	1本				1本			
木部材の梱包箱に入っているもの	キャビネット（扉タイプ）		1個				―			
	扉		1個				―			
	小ねじ（丁番連結用）	φ4×7	2本		3本		―			
	キャビネット（オープンタイプ）		―				1個			
	タッピンねじ（キャビネット固定用）	φ6×80	6本				6本			
	ブラケット（右）		1個				1個			
	ブラケット（左）		1個				1個			
	固定金具		1個				1個			
	タッピンねじ（ブラケット固定用…6本）（カウンター固定用…4本）（固定金具用……2本）	φ4.5×16	12本				12本			
	ステー		1個		2個		―			
	小ねじ（ステー用）	φ5×8	1本		2本		―			
	取付用横さん		1本				1本			
	タッピンねじ（取付用横さん用）	φ5.2×55	2本				2本			

水栓カバーとタッピンねじは水栓操作レバーが右または左取付仕様の場合のみ同梱されています。

			扉タイプ LDSJ○○○# 75#	90#	100#	120#	オープンタイプ LDSJ○○○○ 75	90	100	120
木部材の梱包箱に入っているもの	ニースペース板		1個				1個			
	化粧ねじ		2本				2本			
	水受けトレイ		1個				1個			
	水受けトレイ取付具		1個				1個			
	カバー取付具		1個				1個			
	タッピンねじ（水受けトレイ取付具用…2本）（カバー取付具用…4本）	φ4×25	6本				6本			
	カバー		1個				1個			
	小ねじ（カバー用）	φ4×8	2本				2本			
	エンドスペーサー		1個				1個			
	ワンプッシュ排水ボタン一式		1セット				1セット			
	排水トラップ一式		1セット				1セット			
	防臭栓		1個				1個			
	取扱説明書（保証書付）		1冊				1冊			
金具梱包	水栓金具（保証書付）		1セット				1セット			
配管カバーユニット（別売品）L0100	カバー取付具		1個				1個			
	タッピンねじ（カバー取付具用）	φ4×25	4本				4本			
	カバー		1個				1個			
	小ねじ（カバー用）	φ4×8	2本				2本			
	エンドスペーサー		1個				1個			

水栓金具の部品明細は水栓金具の施工説明書をご覧ください。

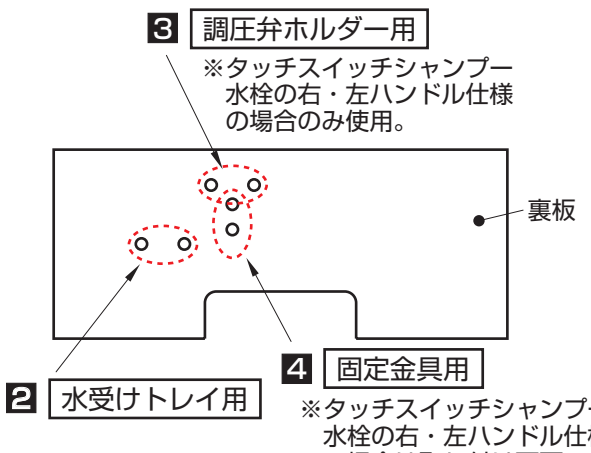
7 取付手順（番号順に取り付けてください。）

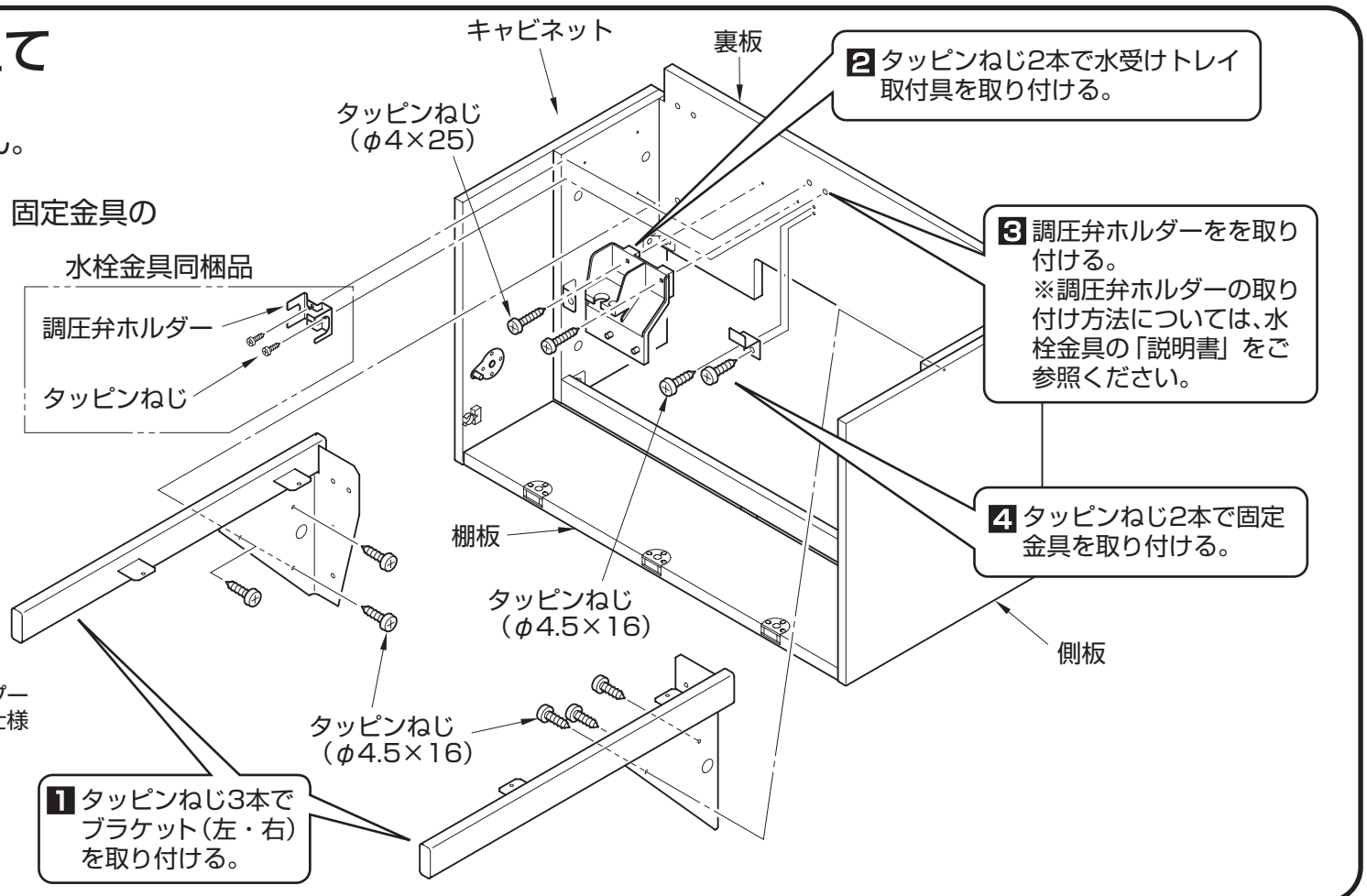
- 付属の木ねじ（2本φ5.2×55）で壁を固定してください。
  ※床が水平でない場合には扉・引出し前板に段差ができるおそれがありますので、丁番・引き出し前板を調整して段差をなくしてください。
  （調整要領をご参照ください。）
  それでも良くならない場合はライナー（現場調達）をして水平になるように調整してください。
- タイル･コンクリート壁の場合は、現物に合わせて壁固定ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ（引き抜き強度：1000N以上／本）を打ち込んでおいてください。
  プラグは固定用ねじに合わせて現場にて準備してください。
（プラグの下穴は必ずご使用のプラグ指定のドリル径であけてください。）

①キャビネットの組み立て

- 図は扉タイプを示します。
  オープンタイプは棚板が付きません。
  また、側板が小さくなります。
※ブラケット・水受けトレイ取付具・固定金具の順序で取り付けてください。

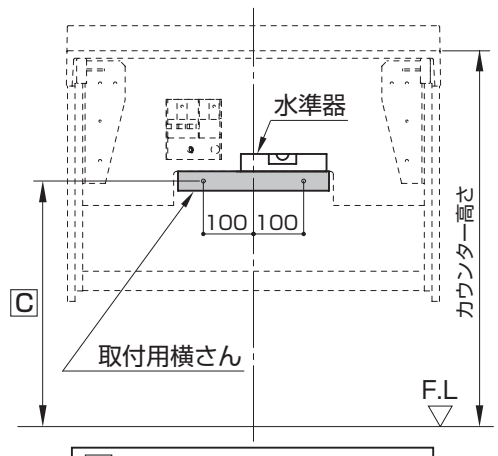
【裏板　部品取り付け位置】





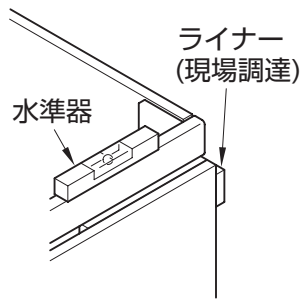
②キャビネットの取り付け

1 取付用横さんを壁に固定する。
水準器で取付用横さんの水平を確認する。
水平でない場合は、壁固定ねじをゆるめて水平になるよう調整してください。

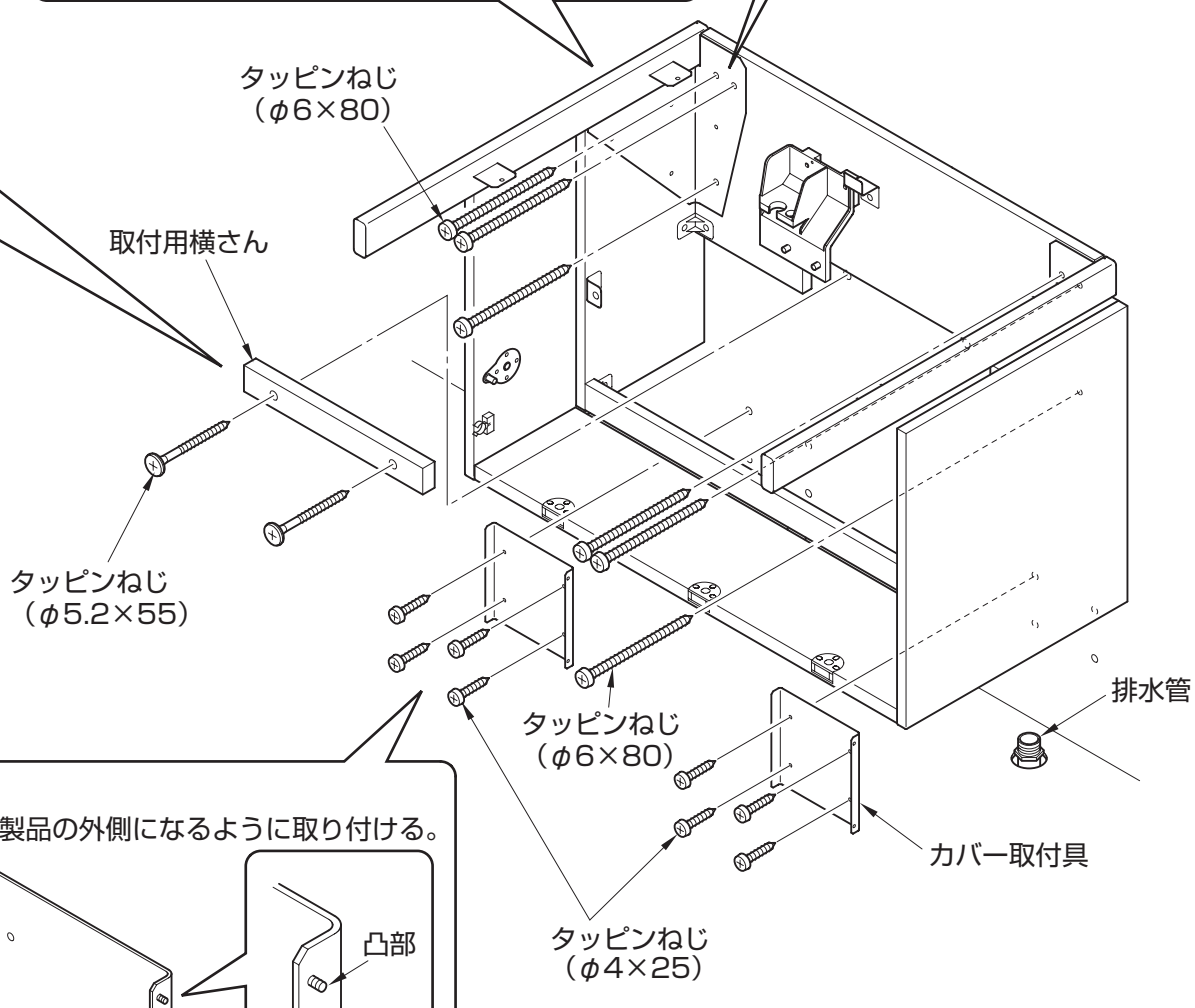


C＝カウンター高さ－260mm

2 キャビネットを取付用横さんに仮り置きし、垂直を確認する。
垂直でない場合は、ライナー(現場調達)などで調整してください。

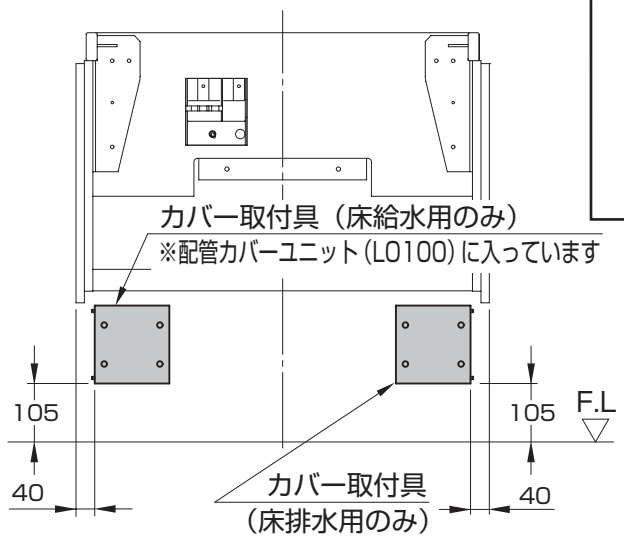


3 タッピンねじ左右3本で、キャビネットを壁に固定する。
※ねじに合わせてビットを選定してください。

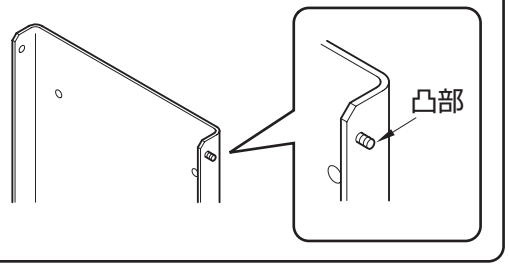


- 床給水・床排水の場合
  ※壁給水･壁排水の場合は、カバー取付具は不要です。

4 カバー取付具を壁に取り付ける。



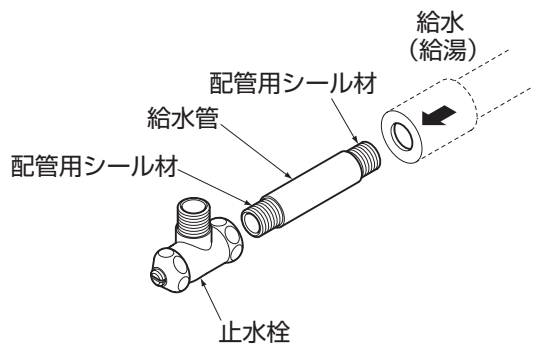
凸側が製品の外側になるように取り付ける。

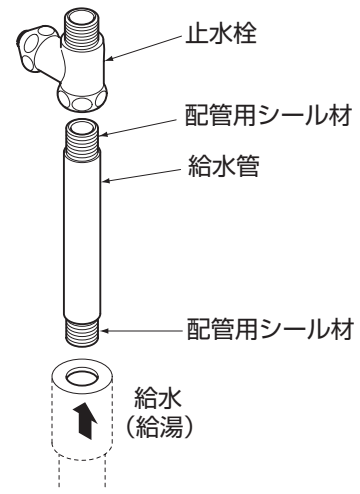


裏面に続く

③止水栓の取り付け

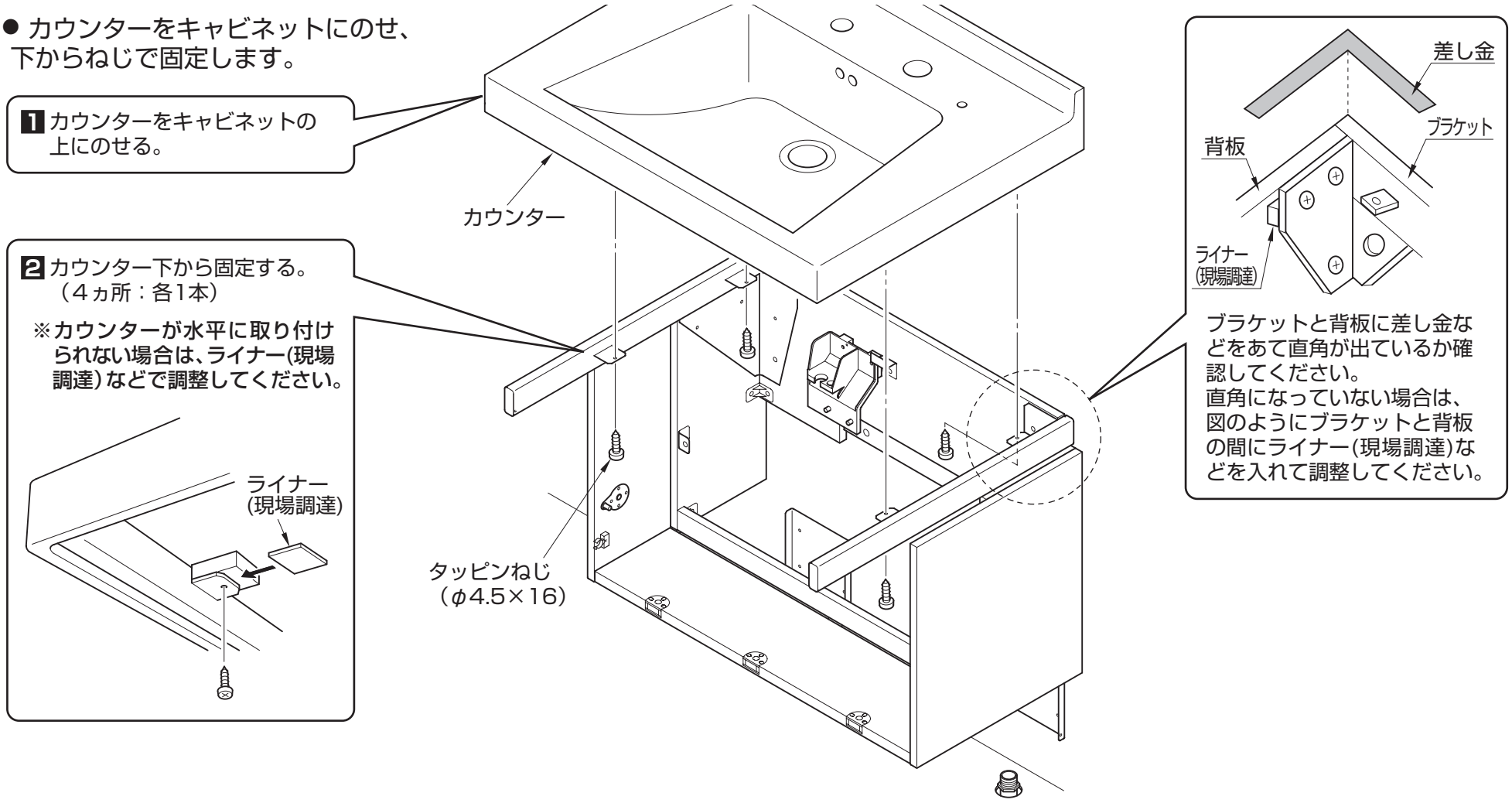
● 止水栓は工具で十分に締め付けてください。





④カウンターの取り付け

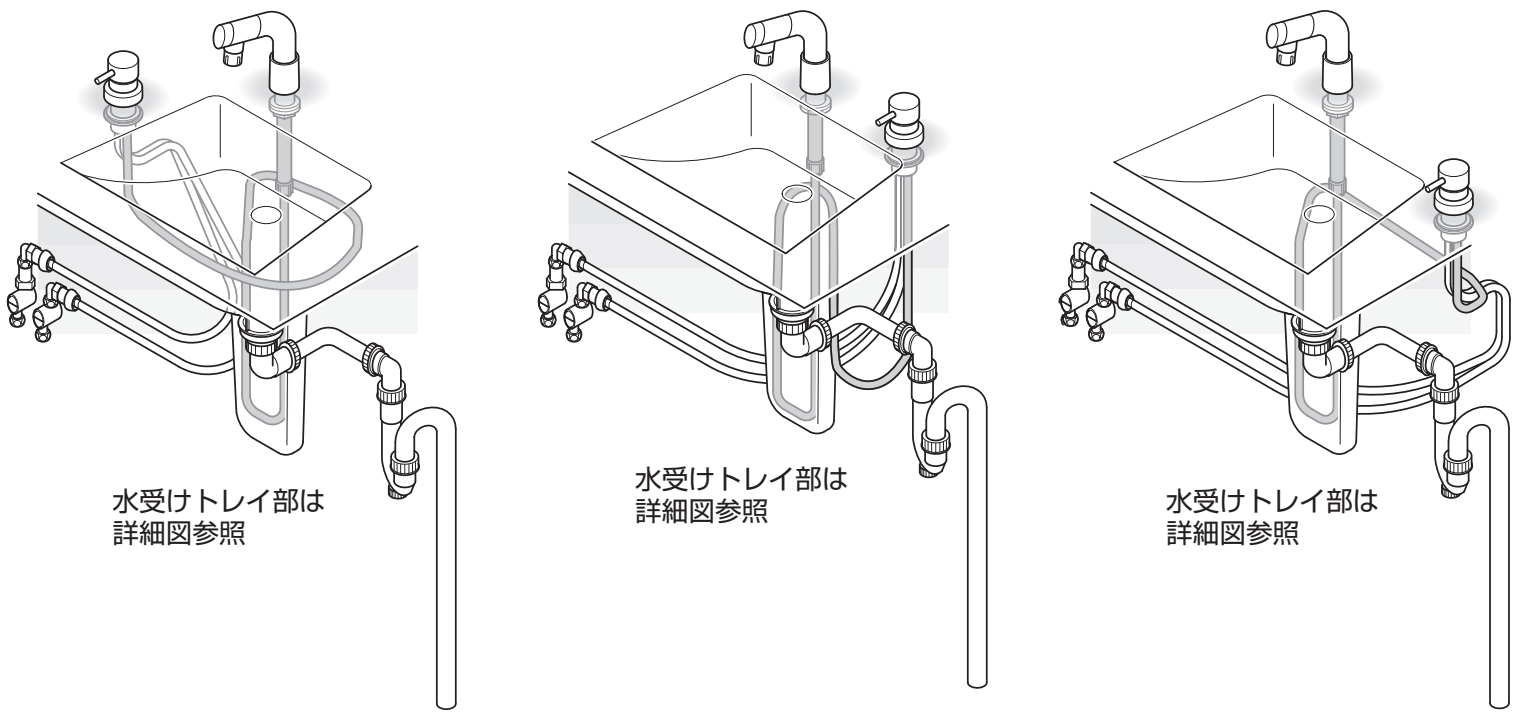
● カウンターをキャビネットにのせ、
下からねじで固定します。

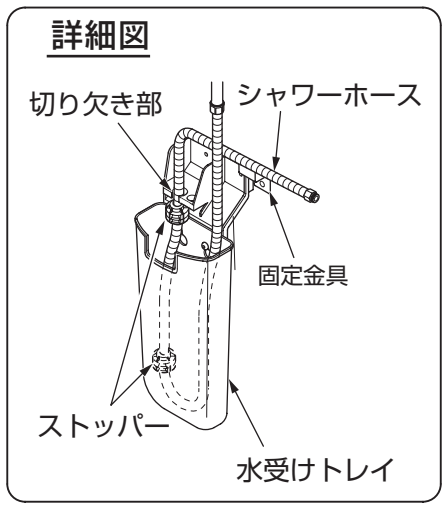


⑤水栓金具・水受トレイの取り付けおよび給水・給湯ホースの接続

● 水栓金具・水受トレイの取り付けおよび給水・給湯ホースの接続については、水栓金具の「施工説明書」をご参照ください。

給水、給湯ホースの引き回し

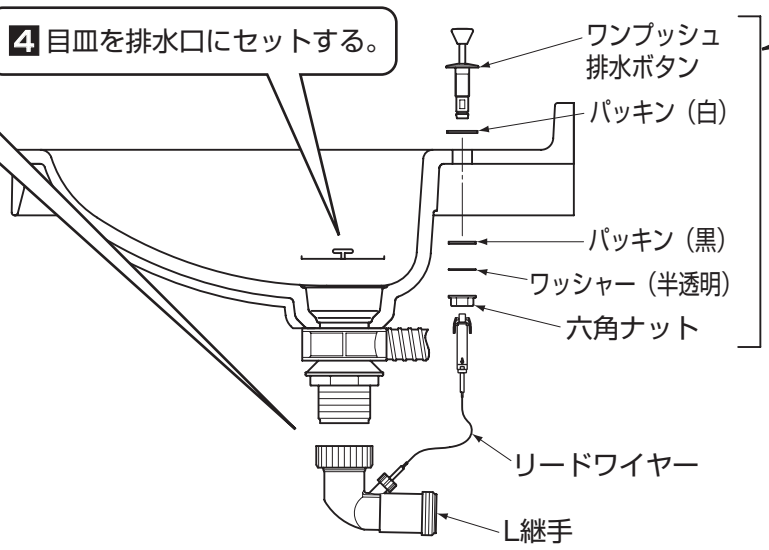




⑥ワンプッシュ排水ボタンの取り付け

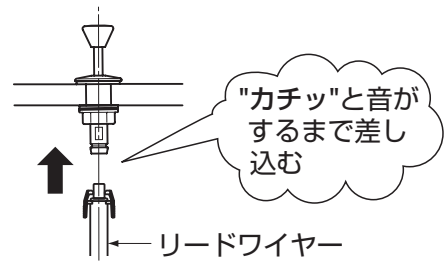
1 L継手を真後ろに向け、ナットを確実に締め付ける。
※工具は使用しないでください。

4 目皿を排水口にセットする。



2 ワンプッシュ排水ボタンをカウンターに取り付ける。
※左水栓の場合は、ワンプッシュ排水ボタンの取り付け位置も左側になります。

3 リードワイヤーをワンプッシュ排水ボタンに取り付ける。



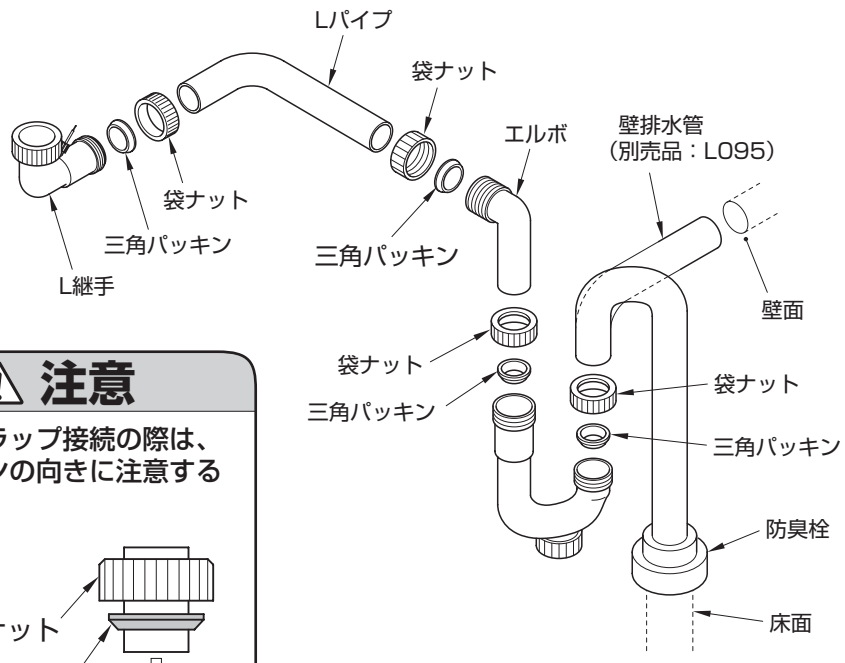
⚠ 注意

リードワイヤーに工具を引っ掛けない

水側で操作不良を起こす原因になります。

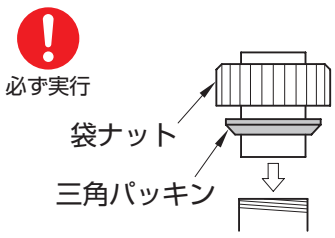
⑦排水トラップの取り付け

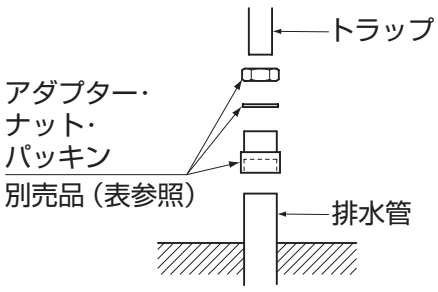
- 床排水トラップの場合は、排水管に防臭栓をはめてトラップを差し込みます。
- 袋ナットは必ず手で締めてください。工具を使用すると破損するおそれがあります。
- 集合住宅、高層住宅の場合、排水管とトラップを別売のアダプター（下表）で確実に接合します。



⚠ 注意

排水トラップ接続の際は、パッキンの向きに注意する

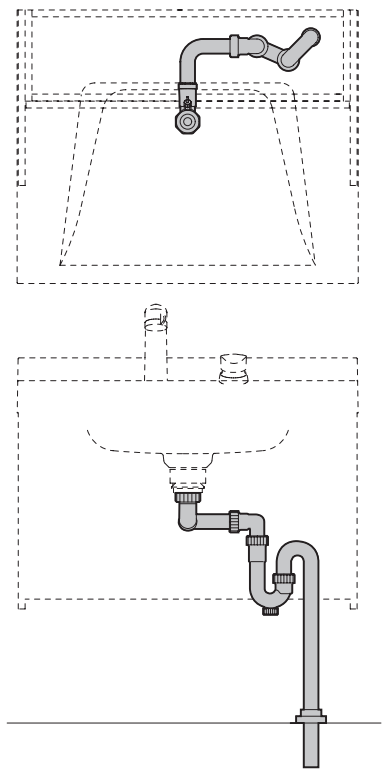




〈アダプター接続の場合〉

アダプターの種類	サイズ
T1122（鋼管用）	R1 1/4
L048（塩ビ管用）	40用
L049（塩ビ管用）	50用

排水トラップの引き回し

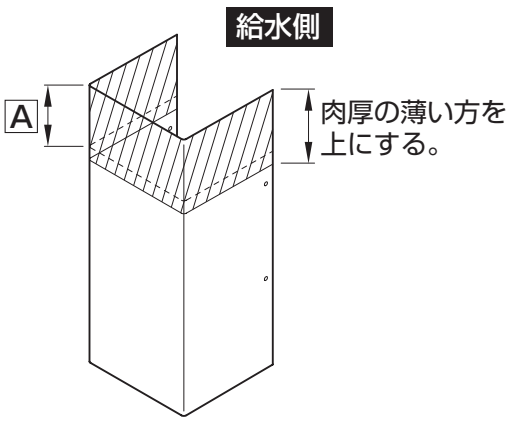


⑧漏水の確認

- 通水し、配管接続部に水漏れがないことを確認してください。

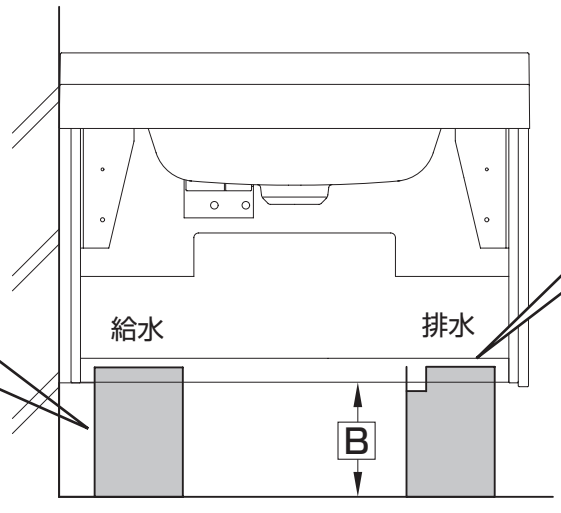
⑨カバーの切断（床給水・床排水の場合）

1 床給水用カバーの切断
（配管カバーユニット：L0100）

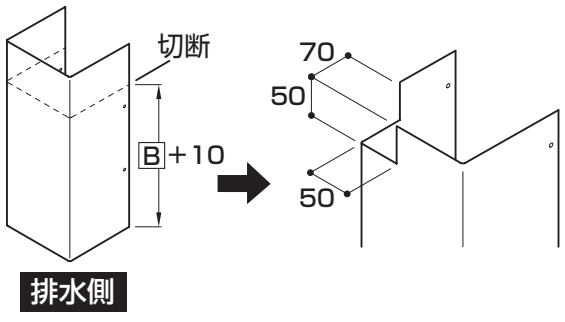


●カバーカット寸法

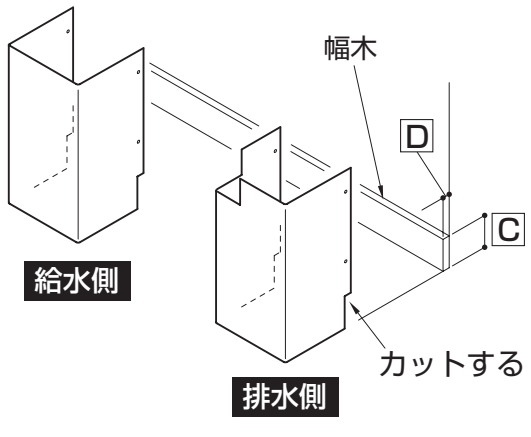
カウンター高さ	A
700～750mm	100mmカット
751～800mm	50mmカット
801～850mm	カット不要



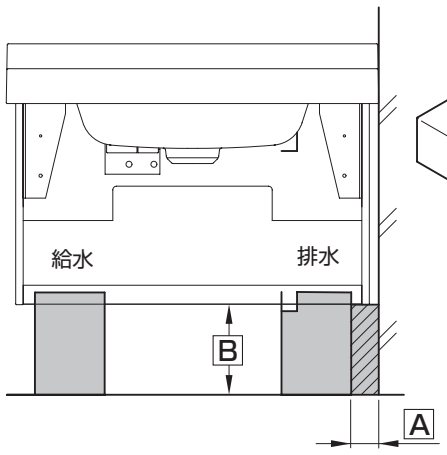
2 カバーを B ＋10の高さで切断する。
さらにカバーの内側角部を下図のように切断する。
※肉厚の薄い方を上にする。

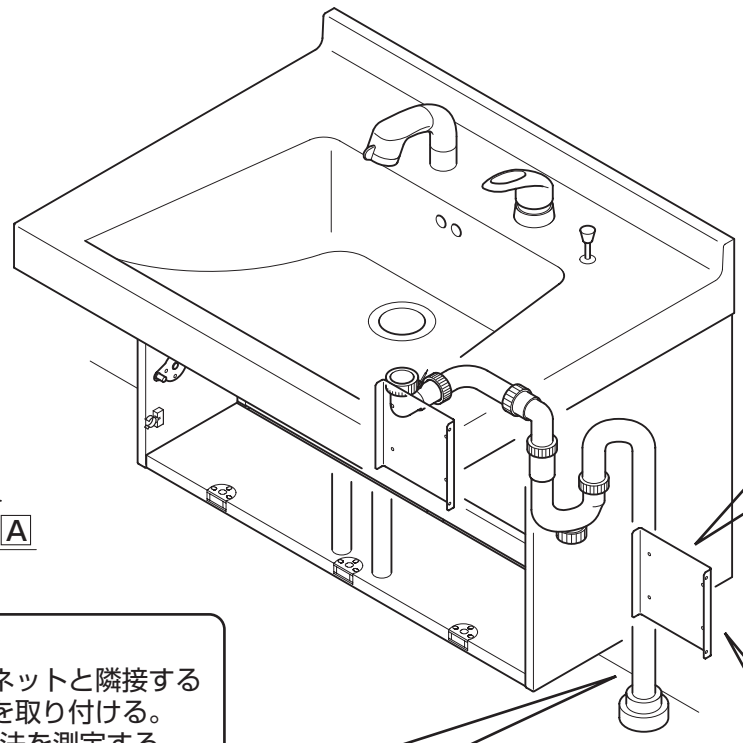


3 幅木がある場合は C D 寸法を切断する。

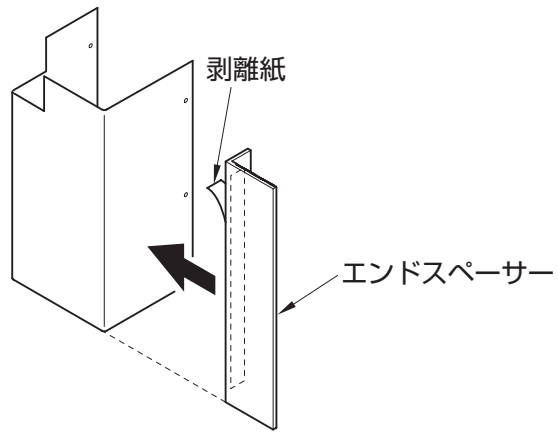


⑩カバー・エンドスペーサーの取り付け（床給水・床排水の場合）

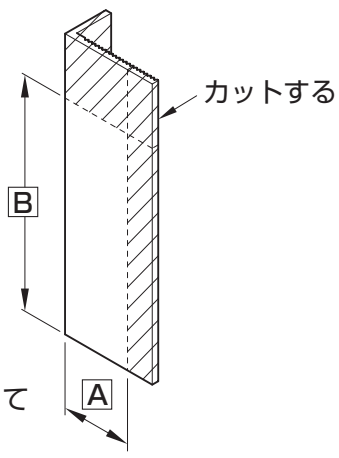




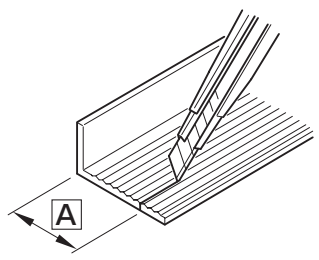
2 エンドスペーサーの剥離紙をはがして、カバーに貼り付ける。その際、カバー下端と前面を合わせて貼る。



1 エンドスペーサーのカット
- 側板が壁やトールキャビネットと隣接する時のみエンドスペーサーを取り付ける。
- カバーを仮置きして A 寸法を測定する。

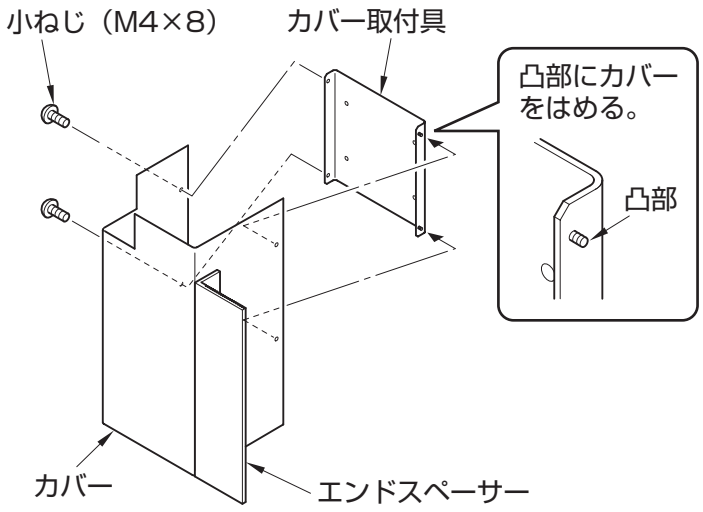


A B 寸法を測ってカットする。



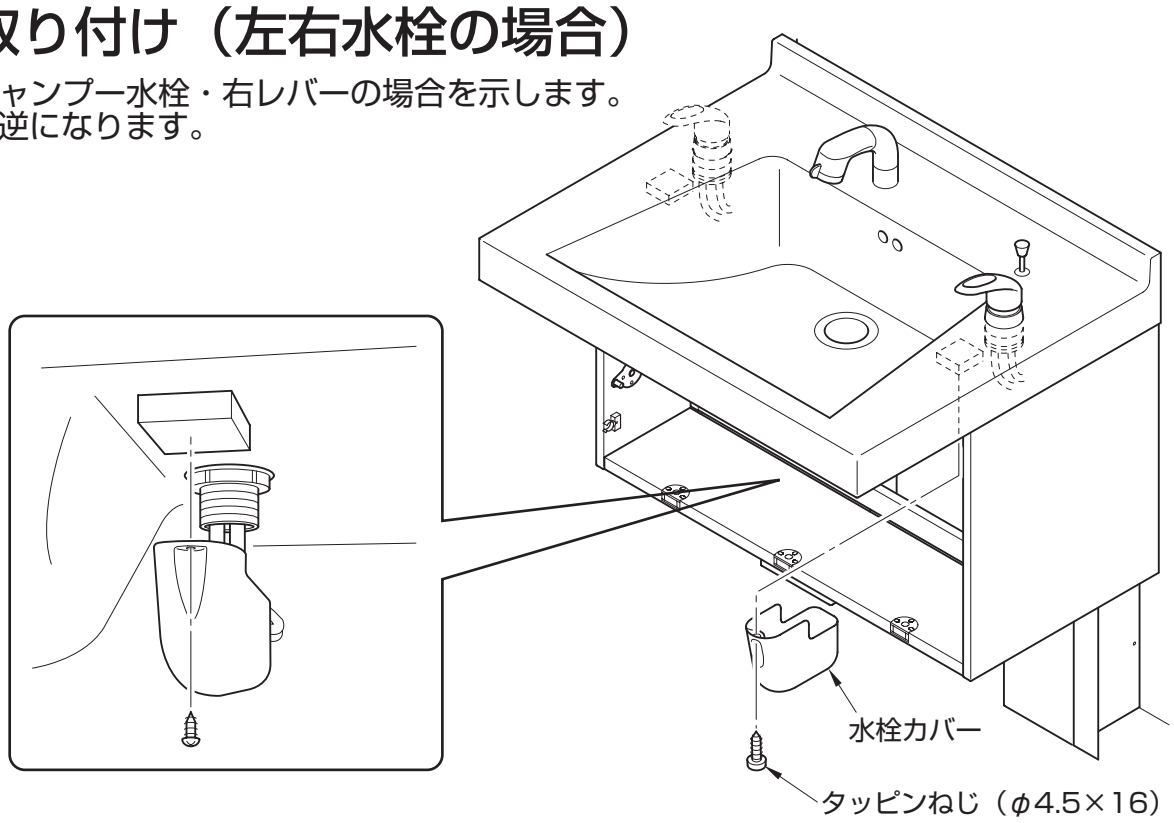
※A 寸法はカッターまたは万能バサミでカットできます。

3 小ねじ2本でカバーをカバー取付具に取り付ける。



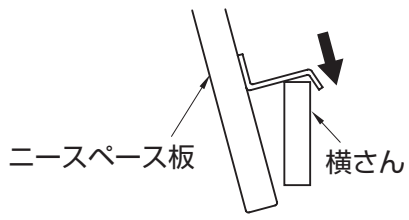
⑪水栓カバーの取り付け（左右水栓の場合）

- 図はシングルレバーシャンプー水栓・右レバーの場合を示します。左レバーの場合は左右逆になります。

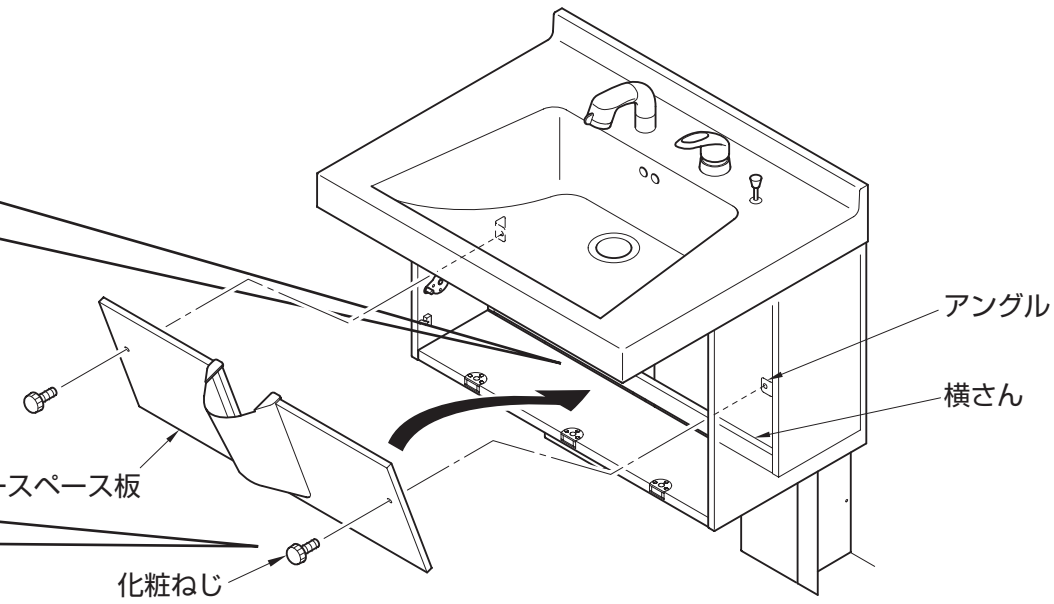


⑫ニースペース板の取り付け

1 ニースペース板を横さんに引っ掛ける。

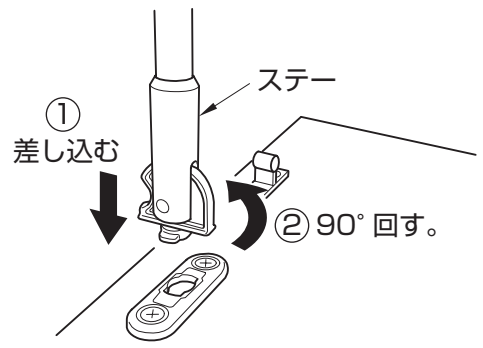


2 扉を開けてニースペース板を化粧ねじでアングルに固定する。



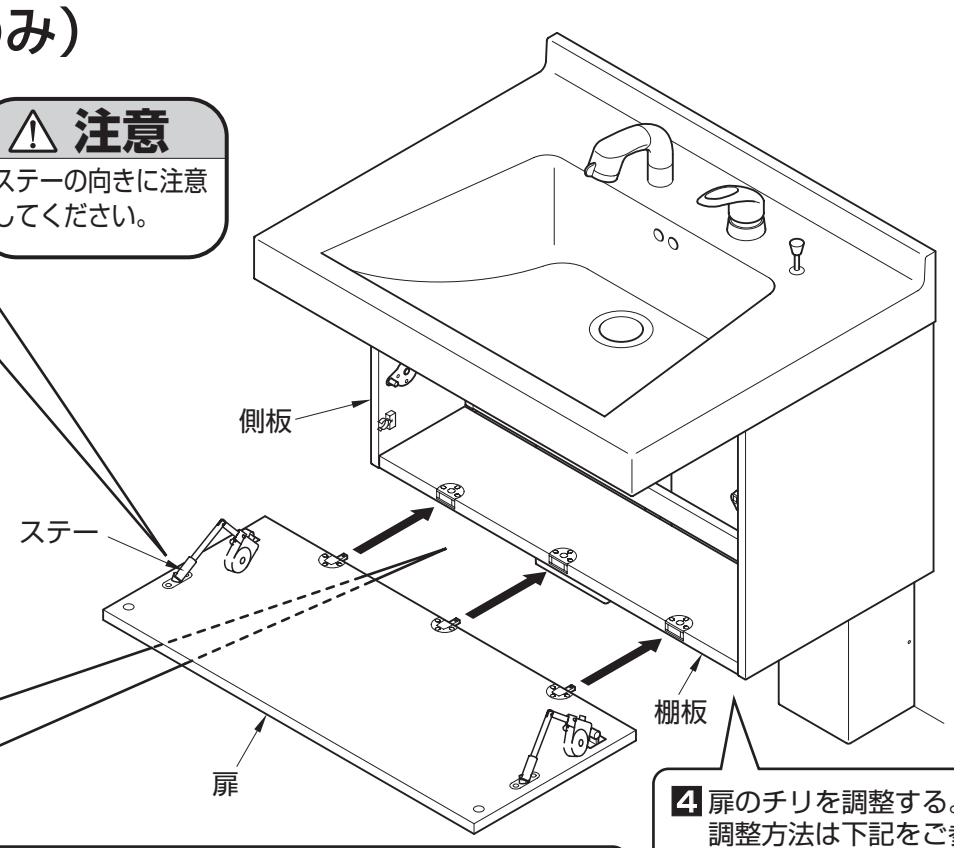
⑬扉の取り付け（扉タイプのみ）

1 ステーを固定具に差し込み、90°回す。

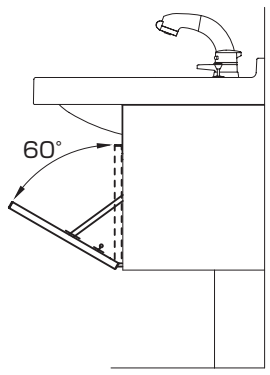


・LBJ75/90……右側のみ
・LBJ100/120…左右取り付け

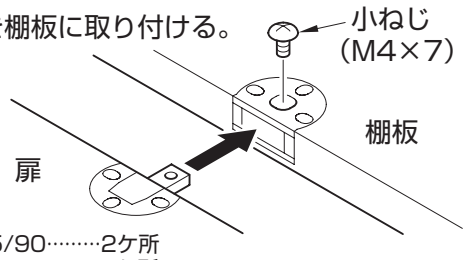
⚠注意
ステーの向きに注意してください。



5 扉の開き角度は最大60°です。



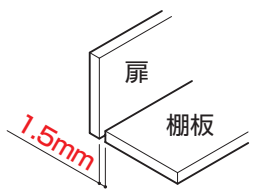
2 扉を棚板に取り付ける。



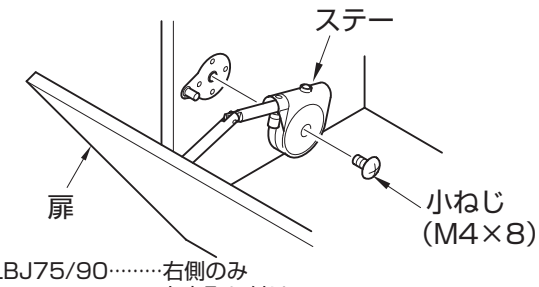
・LBJ75/90……2ケ所
・LBJ100/120…3ケ所

⚠注意

[扉調節時の注意]
扉と棚板のすき間が狭いと扉が開きにくくなる場合があるため、必ずすき間をあけるようにしてください。

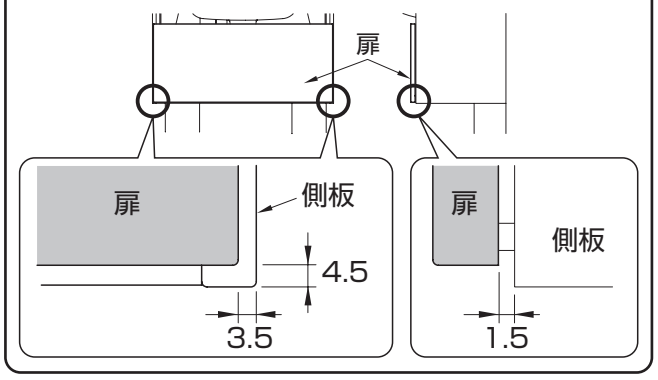


3 側板にステーを取り付ける。



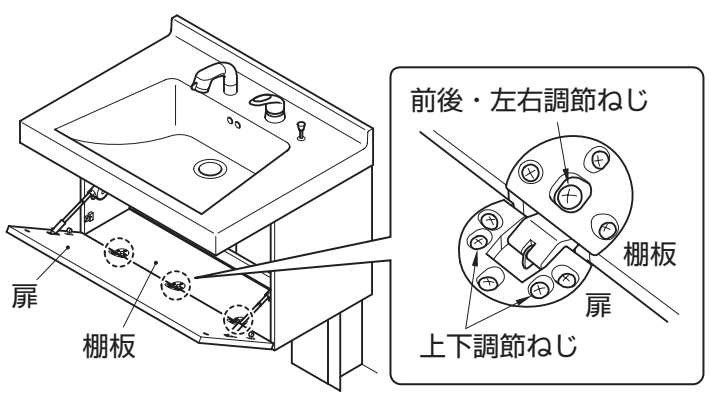
・LBJ75/90……右側のみ
・LBJ100/120…左右取り付け

4 扉のチリを調整する。
調整方法は下記をご参照ください。



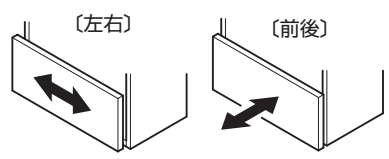
8 扉の調整方法

■各部の名称



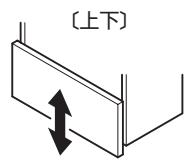
前後・左右調整

すべての丁番の前後・左右調節ねじをゆるめ、扉を前後・左右に動かし適当な位置を選び、しっかりねじを締めます。



上下調整

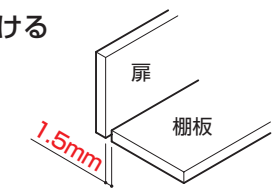
すべての丁番の上下調節ねじをゆるめ、扉を上下に動かし適当な位置を選び、しっかりねじを締めます。



⚠注意

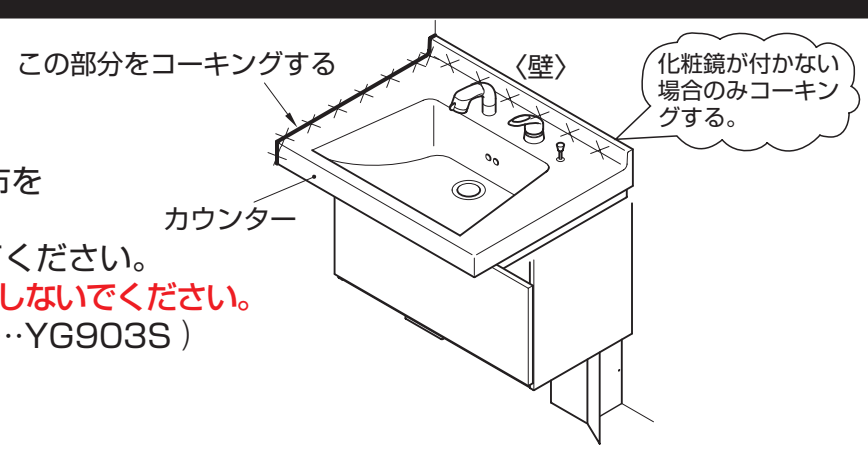
必ず実行
調整後ねじはしっかり締めつけて、ゆるみのないことを確認する
扉が外れ、破損やけがの原因になります

必ず扉と棚板のすき間をあける
扉と棚板のすき間が狭いと扉が開きにくくなる場合があります
必ず実行



9 取り付け完了後の確認と清掃

- 扉の傾き・がたつきなど、丁番のゆるみがないことを確認してください。
- キャビネットが壁に完全に固定されているか確認してください。
- 通水し、配管接続部に水漏れがないことを確認してください。
- 製品に付いた汚れ（プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む）は、ぬれた布をかたく絞ってふき取ってください。
  その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤を付けてふき上げ、最後にからぶきしてください。
  シンナー・ベンジンなどの使用は表面の変色・変質の原因になりますので、絶対に使用しないでください。
- カウンターと壁面が接する部分をコーキングしてください。（白…YG902S、透明…YG903S）
- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどで遮ってください。

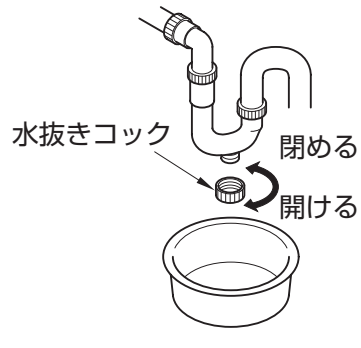


10 寒冷地タイプの水抜き

- 寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。

⚠注意

必ず実行
- **凍結のおそれのある時期に取り付けされた場合は、別途設備された水抜き栓の操作と併せて、次の要領で水抜きをする**
  お客様にも水抜き方法をご指導ください。
- **ナットは手で確実に締め付ける**
  工具は使用しないでください。

【水栓の水抜き】
水栓の水抜きについては、水栓金具の施工説明書を参照してください。

【排水トラップの水抜き】
❶水受けの容器を置き、排水トラップの水抜きコックを開けてください。
❷水抜き後は、必ず水抜きコックを手締めで確実に閉じてください。
（工具は使用しないでください。）